

Suiden

業務用

スポットエアコン クールスイファン

首振り装置内蔵 SS-25DL-1PT

首振り装置なし SS-25EL-1PT

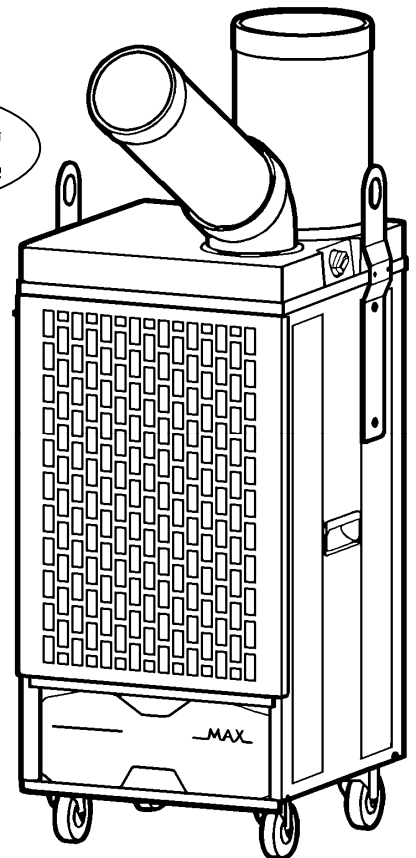


取扱説明書

目次	ページ
1 安全のために必ずお守りください...	1
2 仕様	3
3 各部の名称と付属品	4
4 準備	5
1. 本体の設置.....	5
2. 冷風ダクトとダクト用エルボ.....	5
3. 排気リードダクトの着脱方法.....	6
4. 本体と電源の接続.....	6
5. 試運転.....	7
5 ご使用方法.....	8
1. 運転スイッチ.....	8
2. 風向き調節.....	8
3. ドレンタンク.....	9
6 保護装置.....	10
7 お手入れと保管.....	10
1. フィルターのお掃除.....	10
2. 外装のお手入れ.....	10
3. シーズンの始めと終わりのお手入れ...	11
別売品のご紹介	11
8 安全のための点検のお願い	12
9 こんなときは(故障かな?と思ったら)...	13
10 アフターサービスと保証について...	14

日本冷凍空調工業会規格
JRA4040 準拠

オゾン破壊係数ゼロ
R32採用



本取扱説明書は、必ず最後までお読みください。
必要なときに誰でもが読めるところへ、必ず保管してください。

世界のブランド< **Suiden** スイデン>製品をお買上げいただきまして、ありがとうございました。
ご使用中にわからないことや、不具合が生じたときは、必ず本説明書をお読みください。

日本国内交流電源仕様

1 安全のために必ずお守りください

ご使用前に、この『安全のために必ずお守りください』をよくお読みのうえ正しくお使いください。
ここに示した注意事項は、下記2項目に分類します。
いずれも安全に関する重要な内容ですので必ずお守りください。

⚠警告：取扱いを誤った場合、死亡または重傷を負う可能性があります。

⚠注意：取扱いを誤った場合、傷害を負う可能性、物的損害が発生する可能性があります。

絵表示の例

	△記号は、警告・注意を促す内容があることを告げるものです。 図の中に具体的な注意事項が描いているものもあります。（左図は感電注意）
	⊘記号は、禁止の行為であることを告げるものです。 図の中や近くに具体的な禁止事項が描いているものもあります。（左図は分解禁止）
	●記号は、行為を強制したり、指示したりする内容を告げるものです。 図の中に具体的な注意事項が描いているものもあります。（左図はアースする）

⚠警告 使用上の注意事項

- | | |
|---|--|
| 
爆発性粉じんなどの近くや雰囲気内で使用しない。
*爆発したり、火災の原因になります。 | 
引火性のもの、爆発の恐れのあるものの近くで使用しない。
*爆発したり、火災の原因になります。 |
| 
濡れた手で、電源プラグやスイッチ・配線などの電気まわりに触らない。
*感電やケガの恐れがあります。 | 
水・油などをかけない。
*火災・感電・漏電の原因になります。 |
| 
タコ足配線をしない。
指定の延長コード以外は使用しない。
*コンセント部などが異常発熱し、火災の原因になります。 | 
アースを確実に取付け、漏電ブレーカー（別売市販品）を使用する。
*漏電などにより感電する恐れがあります。 |
| 
定格15A以上のコンセントを単独で使用する。
*他の器具と併用すると、コンセント部が異常発熱し、火災の原因になります。 | 
電源プラグのほこりなどは、定期的に乾いた布で拭取る。
*湿気などで絶縁不良となり、火災の原因になります。 |

⚠注意 使用上の注意事項

- | | |
|---|---|
| 
決められた製品仕様以外で使用しない。
*交流100V仕様です。
25℃、50%～45℃、40%の雰囲気内でご使用ください。漏電・感電・火災・水漏れなどの原因になります。 | 
船舶・車両などの空調用としては使用しない。
*水漏れ・漏電の原因になります。 |
| 
吊り上げた際、本体の下に入らない。
*ケガをする危険があります。 | 
片側の吊り上げステーだけで吊り上げない。
*吊り上げステーが外れるなど、落下の原因になります。 |
| 
クレーンなどの操作は、使用装置の免許取得者など、資格所有者が行う。
*労働安全衛生法に規定されています。 | 
吊り上げたとき、しゃくる動作はしない。
*本体落下の恐れがあります。 |

⚠ 注意 使用上の注意事項

- | | |
|--|---|
| <p>❗ 吊り上げる前に、ドレンタンク内の水を捨てる。
* 水の重みでドレンタンクが落下する危険があります。</p> | <p>❗ 吊り上げる前に、冷風ダクトと排気リードダクトを外す。
* 落下する危険があります。</p> |
| <p>🚫 人体に有害な粉じんが浮遊する場所に置かない。
* 本機に有害な粉じんが付着すると、運転時に有害粉じんが拡散する恐れがあります。</p> | <p>❗ 浮遊粉じんの多いところや、油分の多いところに設置するときは、設置場所の雰囲気に対応したフィルターを使用する。
* 標準仕様のままで使用すると、トラブルの原因になる場合があります。
販売店または当社担当者にご相談ください。</p> |
| <p>🚫 導電体の粉じん発生場所で使用しない。
* 感電やショートして発火する恐れがあります。</p> | |
| <p>🚫 切削油などの油が立ち込める場所で使用しない。
* 樹脂部の劣化により、ケガや事故の恐れがあります。</p> | <p>❗ 浮遊粉じんの多い場所では、必ず定期的に内部を掃除する。
* 感電やショートして発火することがあります。</p> |
| <p>🚫 火花の飛び散る場所で使用しない。
火気に近づけない。
* 火災の原因になります。</p> | <p>🚫 振動のある場所や傾斜のある場所で使用しない。
* 転倒などによりケガや事故の原因になります。</p> |
| <p>🚫 修理技術者以外の方は、分解したり、修理や改造をしない。
* 発火したり異常動作をすることがあります。</p> | <p>🚫 金属部品(アルミフィン)にさわらない。
排気口に手や指を入れない。
* ケガをする恐れがあります。</p> |
| <p>🚫 冷風を長時間、体にあてない。
* 健康を害する恐れがあります。</p> | <p>❗ 定格電圧内で使用する。
電源の±10%以内
* 感電やショートして発火することがあります。</p> |
| <p>🔌 動かなくなったり、異常がある場合は、すぐに電源プラグを抜いて、販売店に必ず点検修理を依頼する。
* 感電・漏電・ショートなどによる火災の恐れがあります。</p> | <p>❗ 電源コードは、指定の長さ以内で、指定の公称断面積のものを使用する。
* コードが発熱して火災の危険があります。</p> |
| <p>🚫 電源コードやプラグが傷んだり、コンセントの差込みがゆるいときは使用しない。
電源プラグにピンやゴミを付着させない。
* 感電やショートして発火することがあります。</p> | <p>🚫 電源コードを加工したり、傷んだままや束ねたまま使用しない。
* 火災や感電の原因になります。</p> |
| <p>❗ 運転時は、キャスターのストッパーをONにして固定する。
* ケガや事故の原因になります。</p> | <p>❗ 搬入・移動に際しては、重心・重量を考慮して作業する。
* 落下・破損などによりケガの原因になります。
* 腰を痛める原因になります。</p> |
| <p>🔌 使用しないときや、お手入れの際、保管するときは、必ず電源プラグをコンセントから抜く。
* 感電やケガをすることがあります。</p> | <p>❗ 電源プラグを抜くときは、電源コードを引っ張らずに、必ず先端の電源プラグを持って引抜く。
* 感電やショートして発火することがあります。</p> |

2 仕様

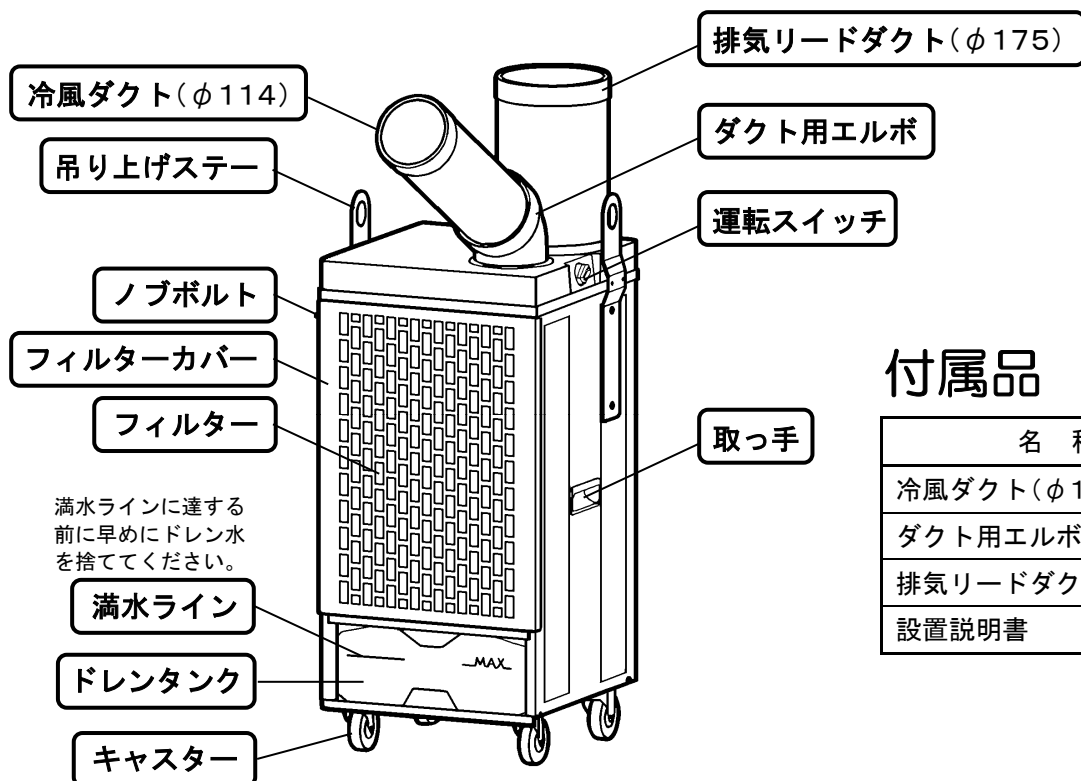
品 番		SS-25DL-1PT	SS-25EL-1PT
種 類	機 能	冷房専用	
	ユニット構成	一体形	
	送 風 方 式	直吹き形	
自動首振り装置		あり	なし
電 源		100V 50／60 Hz	
冷 房 能 力		2.3／2.8 kW	
圧 縮 機		全密閉型ロータリー	
		出力 0.75 kW	出力 0.78 kW
電動機公称出力		160 W	
冷 風 側 風 量		5.3／6.2 m ³ /min	5.9／6.9 m ³ /min
排 熱 側 風 量		9.1／10.6 m ³ /min	9.5／11.0 m ³ /min
冷風吹出温度差		11.0／11.2 °C	10.5／10.6 °C
消 費 電 力		0.78／0.92 kW	0.70／0.87 kW
定格冷房エネルギー消費効率		2.94／3.04	3.28／3.21
始 動 電 流		45.9／41.9 A	29.4／29.4 A
運 転 電 流		9.9／9.3 A	8.1／8.7 A
力 率		79／99 %	86／100 %
冷 媒		R32	
冷 媒 封 入 量		360 g	330 g
設 計 圧 力		H:3.90 MPa L:1.50 MPa	H:4.20 MPa L:1.50 MPa
I P コ ー ド		IP10	
製 品 質 量		37 kg	35 kg
電 源 コ ー ド		5 m (ポッキンプラグ(★)付き)	
外 形 寸 法		幅396×奥行397×高さ833 mm(冷風ダクト、排気リードダクト含まず)	
運 転 可 能 条 件		25℃ (50%) ～45℃ (40%)	

●冷房能力、冷風吹出温度差、消費電力、運転電流は、周囲温度37°C、相対湿度60%で運転したときの値です。

●相対湿度80%を超える環境で運転を続けると、製品内部の結露が多くなりドレン水がドレンタンク内に落ちずに周囲に飛散することがあります。

★ポッキンプラグは日動工業株式会社殿の登録商標です。

3 各部の名称と付属品

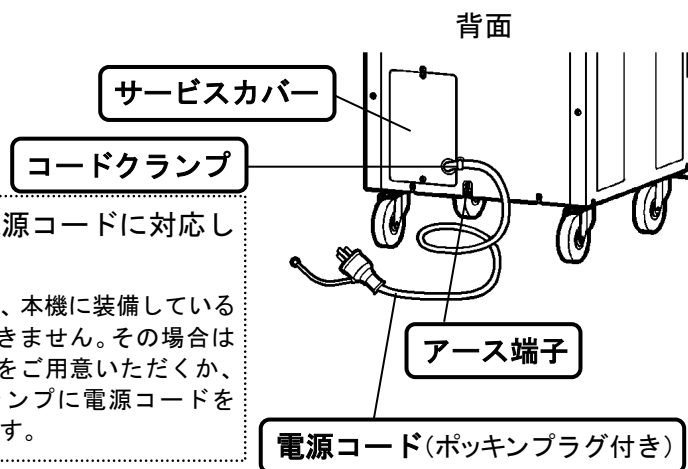


付属品

名 称	個数
冷風ダクト(φ114)	1
ダクト用エルボ	1
排気リードダクト(φ175)	1
設置説明書	1

コードクランプは、φ8.4までの電源コードに対応しています。

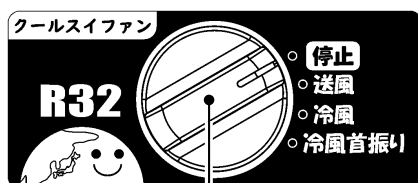
上記より太い電源コードをご使用のときは、本機に装備しているコードクランプでは電源コードを固定できません。その場合はコード径に合った市販のコードクランプをご用意いただくか、または結束バンドを使用してコードクランプに電源コードを固定していただきますようお願いいたします。



運転スイッチ

《SS-25DL-1PT》

首振り装置内蔵

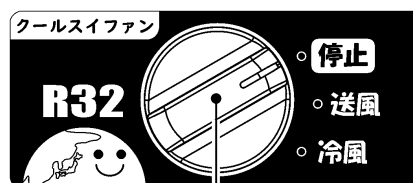


運転スイッチ

「送風」「冷風」「冷風首振り」「停止」を選びます。

《SS-25EL-1PT》

首振り装置なし



運転スイッチ

「送風」「冷風」「停止」を選びます。

スポットエアコンを吊り上げるとき

お願い

本体を落下させたり過度の衝撃を加えると、スポットエアコンが変形したり、破損する可能性があります。

吊り上げる前に、吊り上げステーを締付けているネジがゆるんでいないかご確認ください。

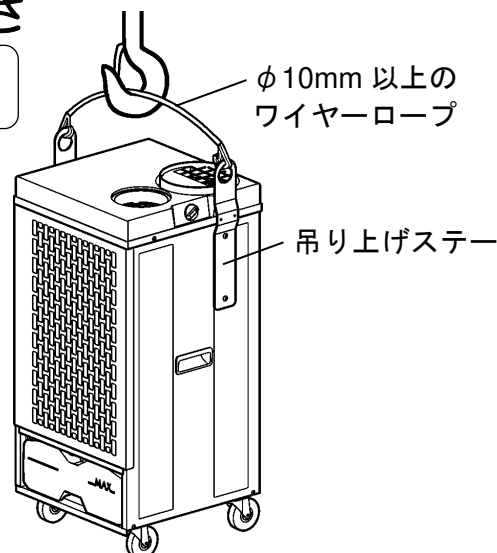
※締付けトルク参考値：2.45～2.65N・m（25～27kgf・cm）

推奨玉掛け用具選定基準

基本安全荷重 0.77t

安全荷重(0° 時) 1.5t

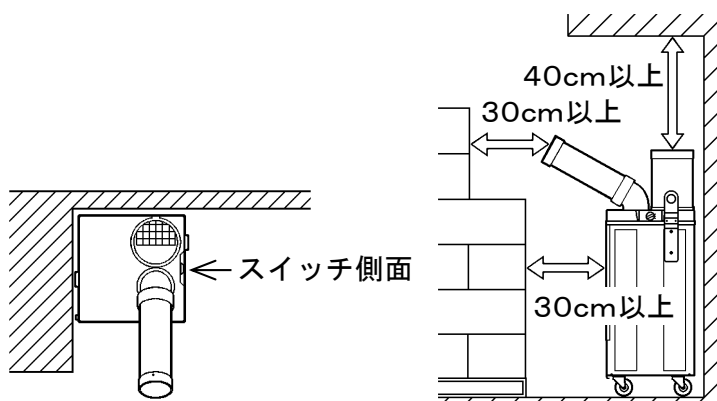
※本体を垂直(0°)に吊り上げた場合の耐荷重



4 準備

1. 本体の設置

フィルター部前面、スイッチ側面および冷風ダクト、排気リードダクトの吹出し方向に障害物のない場所に設置してください。
狭い空間でもコンパクトに設置が可能です。



お願い

①閉め切った部屋などでご使用されると本機の排気(排熱)がこもりますのでご注意ください。

②酸性またはアルカリ性など一般の雰囲気と異なる場所に設置しないでください。

*熱交換器などが腐食する恐れがあります。

③床置き仕様です。床面以外(棚の上など)で使用しないでください。

④屋外や、屋内の水のかかる場所で使用しないでください。*故障の原因になります。

⑤本機を横倒しにしないでください。*冷媒ガスが抜けて冷風が出なくなります。

2. 冷風ダクトとダクト用エルボ

(1) 冷風ダクトの取付け

①ダクト用エルボの切欠き部に、冷風ダクトの突起部を合わせて差込み、右側に止まるまで回します。

②ダクト用エルボを回して、送風したい向きに冷風ダクトを向けてください。

*送風範囲は、8ページ「風向き調節」の項をご参照ください。



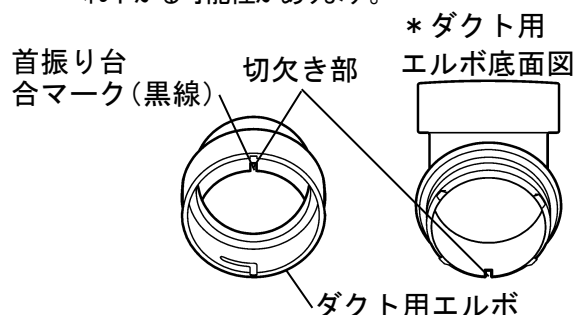
※冷風ダクトは、ダクト用エルボ側に近いところを持って取付けてください。吹き出し口側を持って冷風ダクトを回すと、冷風ダクトが柔らかくなり垂れ下がる可能性があります。

(2) ダクト用エルボを取外すとき

①冷風ダクトを取外します。

②ダクト用エルボを左右に回して、ダクト用エルボの切欠き部から首振り台の合マーク(黒線)が見える位置を探し、黒線の位置に切欠きを合わせます。

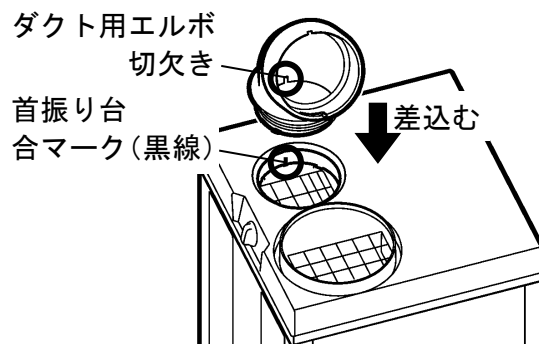
③ダクト用エルボを上へ引抜きます。



(3) 再びダクト用エルボを取付けるとき

- ① 首振り台の合マーク（黒線）の位置に、ダクト用エルボの切欠きを合わせて差込みます。
- ② ダクト用エルボを差込んだ後、軽く左右に回して、切欠き位置と合マークをずらし、エルボが抜けないようにしてください。

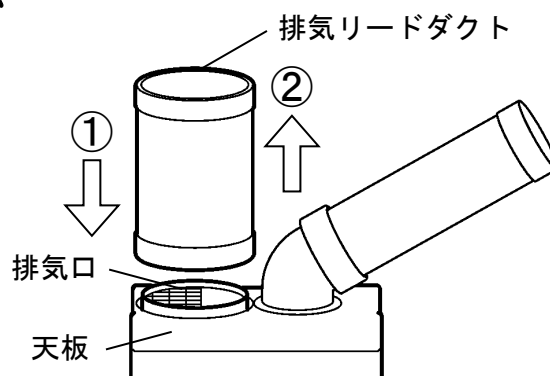
お願い ダクト用エルボが浮き上がっている部分があれば、差込み直してください。



3. 排気リードダクトの着脱方法

- ① 排気リードダクトを排気口に垂直に差込んでください。
- ② 排気リードダクトを外すときは、排気リードダクトを垂直に持ち上げると抜けます。

お願い ① 排気リードダクトの中にものを落としたり、棒などを入れないでください。内部部品を傷めたり、故障の原因になります。
② 排気口を塞がないでください。機能を妨げ、故障の原因になります。



4. 本体と電源の接続

お願い ① 電気工事およびアース工事は、電気事業法および同法省令“電気設備に関する技術基準”に従い、一般社団法人日本電気協会制定の“内線規程”を参考にしてください。
② 電気工事は、有資格者もしくは認定を受けた電気工事店でなければ施工できません。
③ 電源は、スポットエアコン専用の電源につないでください。
④ 電源電線および延長コードは、必ず指定の長さ・公称断面積のものを使用してください。
* 電気容量の不足や電線の容量不足は、本体トラブルの原因になります。

(1) 電気配線

電源は、専用回線(専用電源)をご使用ください。

(2) アース工事

静電防止および感電事故防止のため、必ずD種接地工事を行ってください。
工事を行うには、資格が必要です。

(3) 漏電ブレーカー

漏電ブレーカーは、15A・30mA・0.1sec以下のものを使用してください。

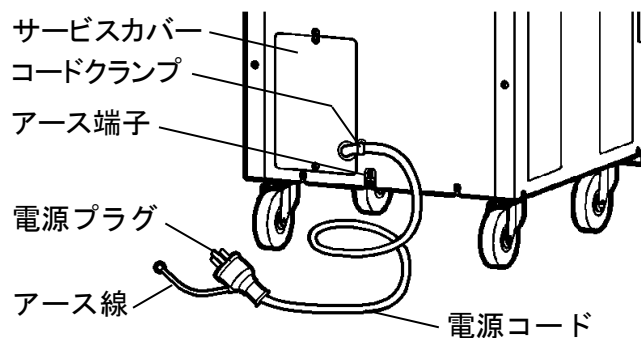
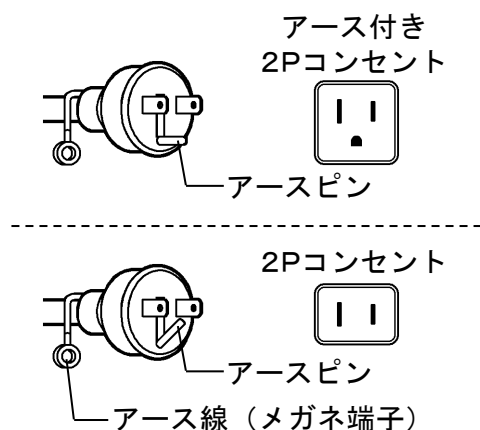
(4) 使用電源電線

電線の長さ	公称断面積
7m以内	2.0mm ²
12m以内	3.5mm ²
20m以内	5.5mm ²
アース線	2.0mm ² 以上

(5) 本体と電源の接続

漏電ブレーカーを設置後、100V電源に接続してください。

プラグにアースピンが付いているので、アース付きコンセントに差込んでください。



アースピンを倒すと、通常のコンセントにも差込めます。

アースピンでアースしない場合は、アース線を必ずアースしてください。先端は、メガネ端子になっています。

※サービスカバー右側のアース端子にアース線を取付けてもアースできます。

お願い 使用しないときは、電源プラグをコンセントから抜くか、元電源(ブレーカー)を切ってください。

5. 試運転

運転スイッチを操作し、各機能が異常なく作動するかご確認ください。

① スイッチの操作方法は、次項「ご使用方法」の各項目をご参照ください。

② 異常がある(作動しない)場合は、13ページ「こんなときは」の各項目をご参照ください。

お願い 「冷風」運転から「送風」運転に切替えまたは「停止」して、再び「冷風」運転にするときは、3分以上お待ちください。
* 3分以内での切替えを頻繁に行うと、配管の割れによるガス漏れまたはコンプレッサーや保護装置が故障する恐れがあります。

5 ご使用方法

1. 運転スイッチ

「送風」…ハネが回り、送風します。(冷風運転ではありません)※コンプレッサーは作動していません。

「冷風」…コンプレッサーが作動し、冷風運転を行います。

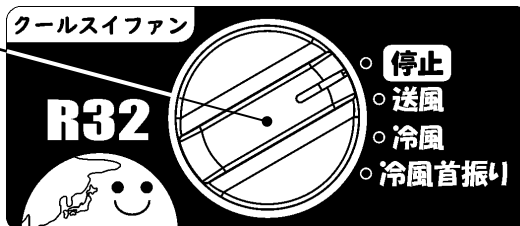
「冷風首振り」…冷風ダクトが左右に首振りします。※SS-25DL-1PTのみ

運転スイッチ

「送風」「冷風」「冷風首振り」を切替えます。

※SS-25EL-1PTには

「冷風首振り」はありません。



お願い

①首振り運転時、冷風ダクトに障害物が当たらないようにご注意ください。

②標準装備の冷風ダクト以外を使用するときは首振り装置を作動させないでください。

*延長冷風ダクトを装着して首振りすると無理な力がかかり、故障の原因になります。

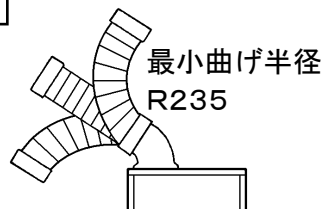
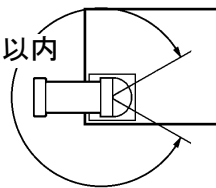
2. 風向き調節

(1) 首振り位置

冷風ダクトは水平方向に約300度の範囲で回転し、上下方向にダクト最小曲げ半径R235の可動範囲内で自在に曲げることができます。

冷風ダクトが柔らかく、垂れ下がる場合は次項の方法で腰を強くしてください。

約300度以内

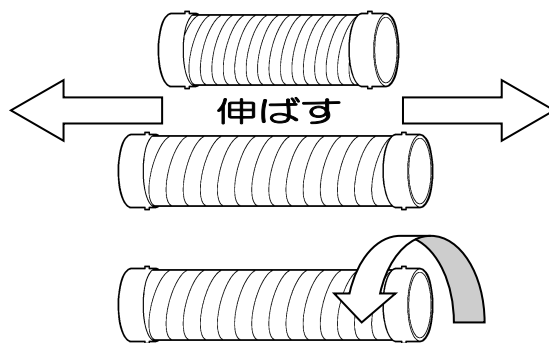


(2) 冷風ダクトの柔軟性

① 冷風ダクトの両端を左右に引っ張り、伸ばす。

② 両端のダクトキャップをねじる。

片側を固定し、手前に1~2周ねじると冷風ダクトの腰が強くなります。



片側は固定

手前に1~2周ねじる

お願い

①冷風ダクトを曲げるときは、エルボ部分に手を添えて、ていねいに曲げてください。

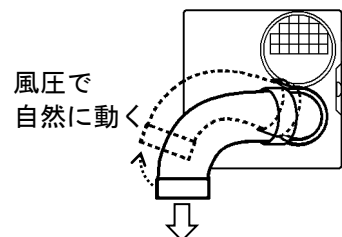
*無理をすると部分破損の原因になります。

②冷風ダクトの中にものを落したり、棒などを入れないでください。

*内部部品を傷めたり、故障の原因になります。

③排気リードダクト方向には首振りできません。

④冷風ダクトの曲げ方向などにより、風圧で冷風ダクトが自然に動くことがあります。

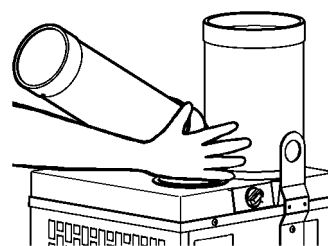


(3) 首振り装置 (自動首振り機能)

※SS-25DL-1PTの機能です。SS-25EL-1PTには自動首振り機能はありません。

冷風ダクトの首振りはお好みの方向に変えられます。

- ① まず、運転スイッチを「送風」か「冷風」にしてください。
- ② 冷風ダクトを軽く押してお好みの位置にセットしてください。



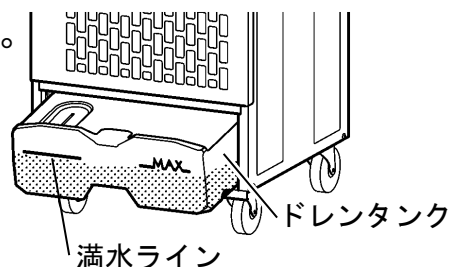
お願い 排気リードダクトや吊り上げステーに当たらない範囲内でご使用ください。

3. ドレンタンク

(1) ドレン水(除湿した水)はドレンタンクに溜まります。

本機は、熱交換器上部の蒸発側で除湿したときに発生するドレン水を、下部凝縮側で一部蒸発しています。

使用環境によってはドレン水がほとんど蒸発し、ドレンタンクには少量のドレン水しか溜まらない場合がありますが、故障ではありません。



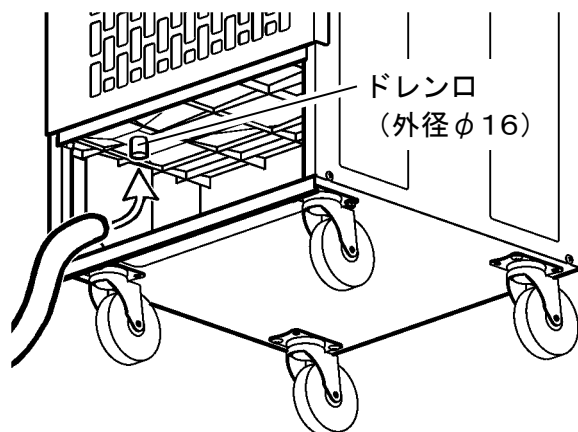
- お願い**
- ① ドレン水量は、外気温、湿度や熱交換器の汚れなどで大きく変わります。特に梅雨時期など湿度の高い時期は、ドレン水量が増えますので、ご注意ください。
 - ② ドレン水量は、ドレンタンクで確認してください。
 - ③ ドレン水は、満水になると床に漏れ出します。ドレンタンク内の水量に充分ご注意の上、満水ラインに達する前に早めにドレン水を捨ててください。
 - ④ 本機を移動するときは、ドレン水を捨ててから移動してください。タンクにドレン水が入っていると本体内に漏れ出る恐れがあります。

(2) ドレン水をホースで排水するとき

ドレン口にホースを差込むと、直接排水することができます。

ホースは、内径φ16mmのものをご用意ください。

- ① ドレンタンクを取出し、天井左部分にドレン口がありますので、ホースを差込み、バンドで固定してください。
- ② ①で接続したホースを排水溝などに入れてください。



6 保護装置

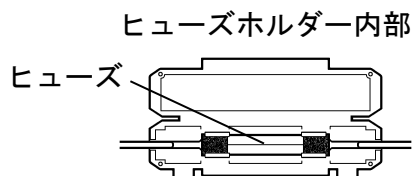
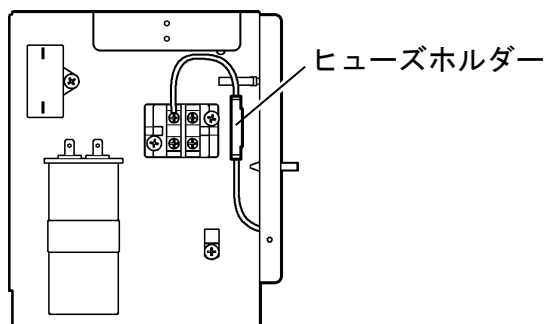
(1) コンプレッサー用オーバーロードリレー

- ① 電圧の低下などによる過電流や、モータの異常過熱からコンプレッサーを保護します。
- ② オーバーロードリレーは自動復帰型です。
頻繁にオーバーロードリレーが作動する(コンプレッサーが停止する)場合は、原因を取除いてください。故障の原因になります。
13ページ「こんなときは」の“運転・停止を繰り返す”をご参照ください。

(2) ヒューズ

ヒューズは、サービスカバー内部にあります。

ヒューズは、ガラス管ヒューズ 長さ30mm 7A (250V) を使用しています。



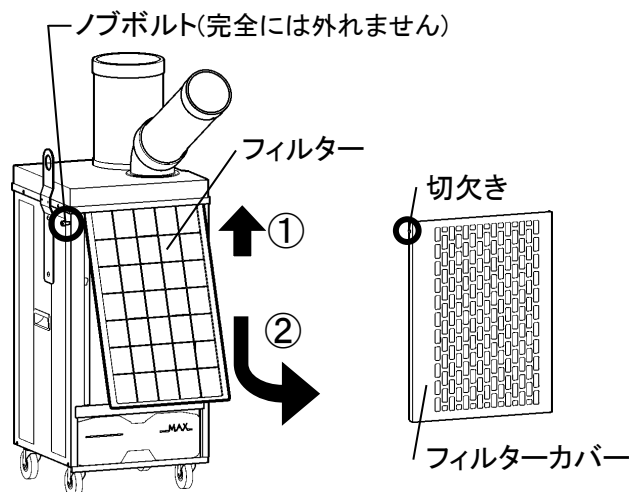
お願い ヒューズ交換は、有資格者もしくは、認定を受けた電気工事店へご依頼ください。

7 お手入れと保管

お願い シーズン中は2週間に1回以上フィルターの掃除をしてください。
・フィルターはシーズン始めには必ず掃除してください。
・フィルターにほこりがたまると冷房能力が低下します。
・特にほこりの多い場所でご使用の場合は、頻繁にフィルターを掃除してください。

1. フィルターのお掃除

- ① フィルターカバーを外します。
フィルターカバーはスポットエアコン本体にマグネットで貼付けています。
脱落防止のため、本体片側のノブボルトに引っ掛けられていますので、ノブボルトを少し緩めてからフィルターカバーを手前に引っ張ると外れます。
- ② フィルターを上を引き上げてから下側を手前に引き抜いて外してください。
- ③ フィルターのホコリを電気掃除機などで吸取ってください。
- ④ 汚れがひどいときは、水洗いをしてください。
- ⑤ フィルターは、完全に乾かしてから取付けてください。
- ⑥ フィルターカバーを取付けてください。
脱落防止のため、切欠き部分をノブボルトに引っ掛けてからノブボルトを確実に締めてください。



2. 外装のお手入れ

ダクトや外装の汚れは、乾いた布で拭くか、薄めた中性洗剤をつけた布で拭いてください。

お願い ①シンナー・ベンジン・薬品・みがき粉などをご使用になると、塗装面を傷めたり、故障の原因になりますのでご使用は控えてください。
②高圧洗浄機で洗浄しないでください。故障の原因になります。

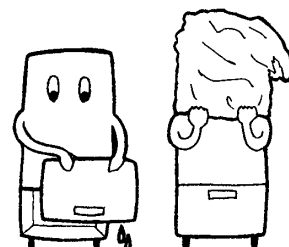
3. シーズンの始めと終わりのお手入れ

(1) シーズン始め

- ① シーズン始めには、必ずフィルターのお掃除をしてください。
* フィルターにほこりなどが付着していると冷房能力が低下します。
- ② 熱交換器が汚れていると、冷房能力が下がったり故障の原因になります。

(2) シーズン終わり

- ① フィルターの掃除、本体外装のお手入れをしてください。
 - ② ドレンタンク内の水を捨てて、中を乾燥させてください。
 - ③ 1時間程、送風運転を行い、本体内部を乾燥させてください。
※カビなどの発生を防止するためです。
 - ④ ホコリがたまらないように適当なカバーをかけてください。
 - ⑤ 部品をなくさないように、保管してください。
- * 熱交換器、シロッコファンなどの内部清掃は、販売店またはスイデン・サービスショップ、スイデンお客様相談室にご相談ください。(清掃・点検は有料です)



お願い

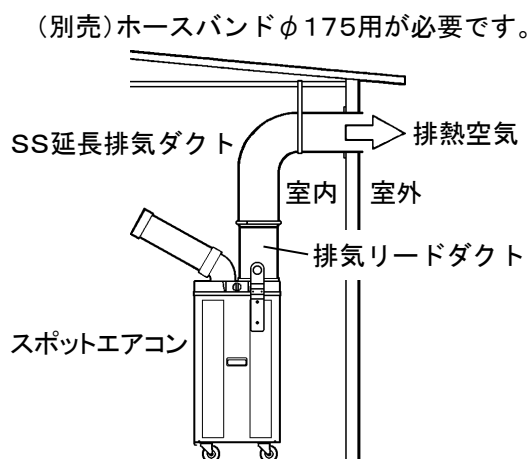
本機を横倒しで保管しないでください。
* 再始動のとき、コンプレッサーなどの故障の原因になります。

別売品のご紹介*****

●SS延長排気ダクト 《品番：SS-HD-175-4M》

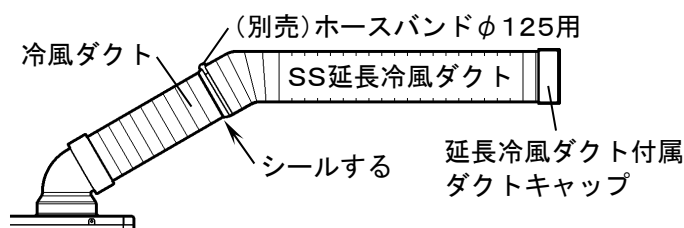
別売の延長排気ダクト（口径φ175mm×長さ4m）を排気口に接続すると、室外に排熱空気を排出できます。標準付属品の排気リードダクトに、延長排気ダクトを接続してご使用ください。

※排気リードダクトを使用せず、延長排気ダクトのみでも直接排気口に接続できます。
(キャップ側を垂直に差込んでください)



●SS延長冷風ダクト 《品番：SS-D-125-5M》

延長冷風ダクト(内径φ125mm×長さ5m)は作業場所の近くに本機を設置できないときなどにご利用ください。



●結露防止冷風ダクト 《品番：SS-D-KB-114-550》

冷風ダクトから水滴が落ちるほど結露する場合は、対策として「結露防止冷風ダクト」をご用意しています。冷風ダクトと交換するだけの簡単装着です。

●防じんフィルター 《品番：SS-BF-1L-A》

頻繁に熱交換器が目詰まりを起こして冷風運転ができなくなる場合は、フィルターカバーの上から別売の「防じんフィルター」を重ねてご使用されることをお勧めします。

※綿、繊維、ガラス繊維などの粉じんが多い場所でご使用の場合などに。

※防じんフィルターが目詰まりすると、正常な冷風運転ができなくなります。防じんフィルターは、本機から外してこまめに洗浄してください。

●オイルミストフィルター 《品番：SS-OF-1L-A》

オイルミストが多い場所でご使用の場合は、フィルターカバーの上から別売の「オイルミストフィルター」を重ねてご使用されることをお勧めします。

「オイルミストフィルター」を装着することにより、熱交換器の油汚れによる冷房能力の低下やドレン水の飛散を防止できます。

※オイルミストフィルターが目詰まりすると、正常な冷風運転ができなくなりますので交換してください。

●スポットエアコン保管カバー 《品番：SS-HC-1-A》

スポットエアコンを保管される場合は、保管時にホコリが溜まることを防止できる「保管カバー」のご使用をお勧めします。

本体ピッタリサイズで、丈はボタンで4段階調節が可能です。ラベル用透明ポケット付きなので製品管理も簡単に行えます。

8 安全のための点検のお願い

安全にご使用いただくために、下記の点検項目に従って、定期的に保守点検をしてください。

点検で不具合が見つかったときは、速やかに処置を施してください。

点検項目	処 置
電源コードは、傷んだり変形していませんか？	電源コードの交換が必要です。
電源プラグは、変形やガタがありませんか？	
電源プラグは、コンセントに正しく差込まれていますか？	正しく差込んでください。
ダクトは変形したり、破れていませんか？	ダクトを交換してください。
フィルターに、ホコリやゴミが詰まっていますか？	フィルターを掃除してください。
フィルターは、正しくセットしていますか？	正しくセットしてください。
フィルターは、破れていませんか？	フィルターを交換してください。
フィルターや冷風ダクトをふさいでいませんか？	障害物を取除いてください。
熱交換器のフィンが変形していたり、ホコリや油汚れが付着していませんか？	販売店または、スイデンお客様相談室に点検・修理をご依頼ください。
ドレンタンクは、正しくセットしていますか？	正しくセットしてください。
ドレンタンクは、破損していませんか？	ドレンタンクを交換してください。
キャスターは、磨耗していませんか？	キャスターの交換が必要です。
キャスターのストッパーは、正常に働きますか？	
各スイッチは、正しく機能しますか？	13ページ「こんなときは」を参考に調べていただき、直らない場合は、販売店または、スイデンお客様相談室に点検・修理をご依頼ください。
異音・異臭はありませんか？	販売店または、スイデンお客様相談室に点検・修理をご依頼ください。

9 こんなときは（故障かな？と思ったら）

ご 確 認 く だ さ い		
症 状	原 因	処 置
運転しない	電源が供給されていますか？（停電など）	通電されるまで運転スイッチを「停止」の位置にして待ってください。 「冷風」の位置のまま通電すると、ヒューズが切れたりブレーカーが落ちることがあります。
	電源プラグをコンセントに差込んでいますか？	電源プラグをコンセントに差込んでください。
	電源コードが断線していませんか？	断線を直してください。
	電源用ヒューズが切れていたり、ブレーカーが落ちていませんか？	電気の専門家がおられない場合は、販売店にご相談ください。
ヒューズまたはブレーカーが切れる	ブレーカーの容量は充分にありますか？	ブレーカーは本機専用とし、分岐回路も本機専用にしてください。
	3分間停止を守りましたか？	スポットエアコンを「停止」して、再び運転を開始する場合は、3分間以上の時間をおいてから「冷風」運転してください。
	電源電圧が低くなっていませんか？	電力会社にご相談ください。
運転・停止を繰り返す （オーバーロードリレー作動）	電源電圧が低くなっていませんか？	電力会社にご相談ください。
	電源コードの容量不足ではありませんか？	適正な電源コードに交換してください。 （6ページ「使用電源電線」の項参照）
冷えない	運転スイッチが「送風」になっていませんか？	「冷風」にしてください。
	フィルターや、冷風ダクトがふさがれていませんか？	障害物を取除いてください。
	フィルターがホコリやゴミで目詰まりしていませんか？	フィルターを掃除してください。
	オーバーロードリレーが作動していませんか？	自動復帰型です。 運転スイッチを「停止」に戻して、原因を取除いてください。再運転は、停止してから3分以上時間をおいてください。
冷えがにぶい	周囲温度が高すぎませんか？ （45℃を超える温度）	風通しを良くするなど、連続運転可能範囲内でご使用ください。 連続運転可能範囲は、25℃～45℃です。
首振りしない （SS-25DL-1PTのみ）	運転スイッチを「冷風 首振り」以外にしていますか？	「冷風 首振り」にしてください。
機外へ水が漏れる	ドレン口が詰まっていますか？	ドレン口を掃除してください。
	ドレンタンクが満水になっていませんか？	ドレンタンク内の水を捨ててください。
	ドレンタンクを正しくセットしていますか？	正しくセットしてください。
	ドレンタンクが破損していませんか？	補修するか、新品に交換してください。
冷風ダクトが結露している	周辺湿度が高くないですか？ 湿度が高い場合は結露する可能性があります。	ダクトから水滴が落ちるほど結露する場合は別売「結露防止ダクト」をご検討ください。

■上記処置をしても直らない場合は、販売店またはスイデン・サービスショップ、スイデンお客様相談室へご相談ください。

10 アフターサービスと保証について

⚠ 注 意



当社製品の補修・修理には、当社純正部品を使用する。

* 当社純正部品以外を補修部品として使用すると、特性が合わず、故障や事故の原因になります。

* 当社純正部品以外を使用した場合のクレームおよび修理のご依頼などは、お受けできないばかりでなく、すべての保証の対象から外れる場合があります。

* 他メーカー製品に当社部品を使用した場合も同様とします。

フロン排出抑制法 第1種特定製品

- 1) フロン類をみだりに大気中に放出することは禁じられています。
- 2) この製品を廃棄・整備する場合には、フロン類の回収が必要です。
- 3) フロン類の種類、冷媒番号、地球温暖化係数および数量

機種	種類	冷媒番号	地球温暖化係数	数量
SS-25DL-1PT	HFC	R32	675	0.36 kg
SS-25EL-1PT				0.33 kg



●修理について

補修用パーツの発注および修理などのお問い合わせは、品番、製造番号、ご購入日をご確認のうえ、お買い上げの販売店、または当社お客様相談室にお申し付けください。なお、スイデン製品は、家電製品に準じた保有期間を独自設定しています。標準部品としての補修用パーツの保有期間は、製造打ち切り後9年です。

●保証について

この製品の保証期間は納入日より1年間とし、次の場合に限り無償修理の対象となります。

無
償
保
証

取扱説明書に沿った保守点検を実施したにもかかわらず、保証期間内に当社の設計・組立の不備により、故障または破損が発生した場合。（日本国内でご使用の場合に限ります。）
ただし、故障または破損に起因する種々の出費およびその他の損害に関する保証はいたしかねます。
また、無償修理時、故障原因に関係なく消耗し、交換が必要だと判断した部品については、有償とさせていただきます。

⚠ 安全に関するご注意

- 本製品を、食品・動植物・精密機器・美術品の保存など特殊用途については、確認のうえ使用してください。品質低下などの原因になることがあります。
- 本体には、据え付けおよび電気工事などが必要な場合があります。お買い上げ販売店または専門業者にご相談ください。工事に不備があると、感電や火災・事故の原因になることがあります。

愛情点検



★長年ご使用のスポットエアコンの点検を！

このような症状はありませんか？

- スイッチを入れても時々運転しないことがある。
- 運転中に異常な音や振動がある。
- 本体が変形していたり、異常に熱い。
- 焦げ臭い“におい”がする。
- その他の異常がある。

お願い
異常があれば
ご使用を
即、中止!!

このような症状のときは、故障や事故防止のためスイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜き、必ず販売店に点検・修理をご相談ください。

アフターサービスのお申し込みについて

アフターサービス・修理のお申し込みは、お買い上げの販売店または、お客様相談室へお申し込みください。

●お買い上げ販売店のメモ欄

店 名	お買い上げ年月日 年 月 日
所在地	TEL
	FAX

スイデン商品についてのお問い合わせは、お買い上げの販売店または、お客様相談室へどうぞ！

お客様相談室 フリーダイヤル  **0120-285-240**
Eメールでのお問い合わせは info@suiden.com

株式会社 **スイデン** 〒543-0062 大阪市天王寺区逢阪 2-4-24 ホームページ <https://www.suiden.com>